

抗 議 文

米原子力潜水艦シャルロットの横須賀基地入港に強く抗議する。横須賀基地は原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦シャルロットはただちに出て行くこと。

米海軍第7艦隊司令官 スコット・スウィフト中将 殿
在日米海軍司令官 テリー・クラフト少将 殿
米海軍横須賀基地司令官ディビット・グレニスター大佐 殿

2013年9月14日

原水爆禁止神奈川県協議会
神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

9月12日午前9時57分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦シャルロットが、横須賀基地に入港した。原子力潜水艦の入港は今年8回目、原子力艦船の入港も11回目で、通算877回となった。

9月12日は、横須賀基地に原子力艦船の原子炉が3基存在する異常な事態となった。

現在、北東アジアの軍事的緊張が強まっている。武力衝突、核兵器使用という最悪の事態を防ぐためにも、平和的外交努力がいよいよ重要になっている。このようなとき、原子力潜水艦の横須賀入港は、軍事的害悪をもたらすものであり断じて許されない。

米原潜の核兵器搭載の可能性は否定できず、「核持ち込み」の問題も重大である。核を搭載していないことを証明すると同時に、核「密約」はただちに破棄することを要求する。

今日、首都圏や三浦半島で巨大地震の発生確率が高まっている。神奈川県民は、巨大地震による原子力艦船の原子炉事故に強い不安を抱いている。我々はこれまで、再三にわたって巨大地震による原子力艦船の事故の可能性や影響、対策について検証し情報を公開することを要求してきたが、米軍はこれに答えず、詳細な情報の開示を拒否する態度をとっている。県民の要求に誠実に答えようとしないうちで、原潜の横須賀入港は到底許されない。改めて巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性や影響、対策について明らかにすることを強く要求する。

「戦争はしない」と決めた憲法9条を持つ日本に、戦争のための軍艦が、入出港・滞在し実質的な母港としている。横須賀は原子力艦船の母港でない。このような日本国憲法を踏みにじり、アジアの平和と安全を脅かす行動に強く抗議し、原子力潜水艦シャルロットはただちに横須賀から出て行くことを、重ねて要求する。

以 上

